

マツダ病院だより

ひまわり

73



心臓リハビリテーションのスタッフ

CONTENTS

- 心臓リハビリテーション紹介
- 特定行為研修修了者シリーズ 看護実践②
- 2023年度ふれあい看護体験/医療安全推進週間の取り組み/第15回 脳・心臓・血管・代謝フォーラム開催
- 地域連携センターの活動紹介
- 地域のドクター便り「医療法人せのがわ 瀬野川病院」/公開医療講座の開催と今後のご案内
- 外来診療のご案内

マツダ病院理念

マツダ病院は温かい思いやりの心で最新・最良の医療を提供し社会に貢献します

基本方針

1. 患者さんの立場になって、心のもった医療を提供します
2. 医療の安全を徹底し、信頼される病院を目指します
3. 地域の中核病院として、近隣医療機関との連携を図り、地域医療の向上に努めます
4. 最新・最良の医療を提供するため、常に研鑽に励みます
5. 自主・自律(立)の精神のもと、一人ひとりが生き生きとした、働きがいのある病院を目指します
6. 医療資源の活用を図り、健全な経営の確保に努めます

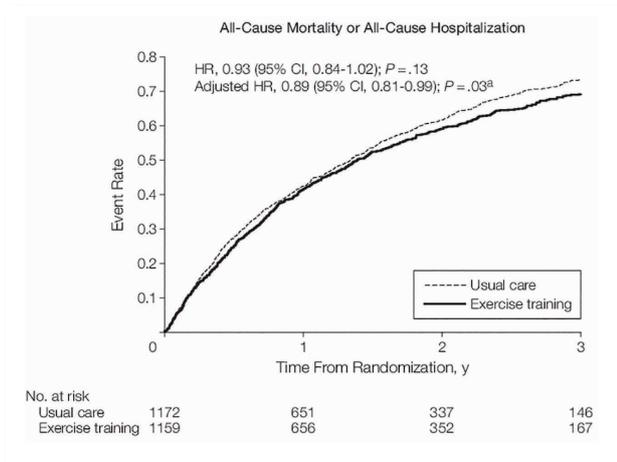
心臓 リハビリテーション

循環器内科医師 須澤 仁

当院では、今年11月より心臓リハビリテーションを開始することとなりましたので、簡単ではありますが心臓リハビリテーションについて紹介させていただきます。

心臓リハビリテーションとは、医学的な評価、運動処方、冠危険因子の是正、教育およびカウンセリングからなる長期的で包括的なプログラムとされ、虚血性心疾患、心不全など心血管疾患を持った患者さんのQOL、長期予後の改善を目指した疾病管理プログラムです。虚血性心疾患、心不全患者さん(図1)での長期予後などの改善効果も示された事もあって近年脚光を浴びており、実際に心臓リハビリテーションは多くの病院で導入・運用されてきております。

図1



運動療法としては、安全かつ有効な有酸素運動を行う事が有用とされていますが、この有酸素運動の範疇を決定するために、呼気ガス分析装置を用いて



図2

の心肺運動負荷試験(CPX)(図2)を行って嫌気性代謝閾値(AT)を求め、これをもとに運動処方をします。なおこの検査では他にもデータが得られ、運動耐容の指標である最大酸素摂取量なども重要なデータですが、これらは心機能だけでなく、骨格筋機能と代謝の状態、呼吸機能、末梢循環、肺循環、自律神経機能、血液成分、など多くの因子が影響しており、予後評価にも有用とされています。



ただし、心臓リハビリテーションにおいては運動療法だけではなく、食事・生活・服薬・禁煙などについての患者教育、カウンセリングなど多面的なアプローチが必要であるため、医師だけでなく、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、などコメディカルとの連携が必要であり、コメディカルが占める役割も重要であります。

心臓リハビリテーションについては、まずは入院患者さんを中心に行っていく予定ですが、上記心疾患、または胸部症状がある患者さんについての相談・紹介も引き続き対応させていただきます。今後とも宜しくお願い致します。

心臓リハビリテーションにおける運動療法

理学療法士 高野 英祐

心臓リハビリテーション(心臓リハビリ)とは、心臓病の患者さんが、体力を回復し自信を取り戻し、快適な家庭生活や社会生活に復帰するとともに、再発や再入院を防止することを目指して行うプログラムのことです。リハビリというと運動が頭に思い浮かぶと思いますが、運動は心臓リハビリのひとつであり、その他に生活指導・食事指導・服薬指導・禁煙指導などの学習指導活動や職場復帰や心配ごとの相談・カウンセリングなどを総合的に行います。



心臓病の患者さんは、病気によって心臓の働きが低下することに加え、安静にしていたことで体の機能が低下してしまい、退院後の生活に不安を抱える方がいらっしゃいます。そのため入院中から心臓リハビリで適切な運動を行うことが非常に重要になります。

当院では医師の指示のもと理学療法士が中心となって、患者さんの体調に合わせて病室内から運動を始めます。そして、ある程度病棟での活動が可能となれば、必要に応じて心肺運動負荷試験(CPX)を行い、その方の状態に合わせた適切な運動プログラムを作成し、自転車エルゴメータを用いた有酸素運動や筋力強化運動を行っていきます。

心臓リハビリテーションにおける療養指導

4階病棟看護師 平岡 葉子

心臓リハビリテーションでは、これまでの生活を振り返り、退院後の生活を見据えた療養指導も大切です。

不整脈などの心臓病は心不全のリスク因子と言われており、一度心不全となれば生涯治療を継続する必要があります。心臓病と上手く付き合いながら健康寿命を延ばすためには、セルフモニタリング(自己管理)が重要になります。

当院では、心不全療養指導士の資格を持った看護師を含むスタッフが、心臓病の事をお伝えし「心不全手帳」を用いてセルフモニタリングが出来るように「心不全教室」を開催しています。

患者さんが自宅でいきいきと過ごせるようにサポートします。



▶ <褥瘡又は慢性創傷の治療における血のない壊死組織の除去>の活動を紹介

担当

迫田 学
【7階病棟 主任看護師(皮膚・排泄ケア特定認定看護師)】

松田 隼子
【皮膚科外来 看護師(皮膚・排泄ケア特定認定看護師)】

特定行為研修修了者 シリーズ

褥瘡(床ずれ)や下腿潰瘍などの創傷は、まず皮膚科医師が診察します。その後、皮膚・排泄ケア特定認定看護師が医師の包括的指示※1のもと、手順書に従い、医療用はさみなどを用いて壊死組織(黒色や黄色に変化し悪くなった皮膚)を取り除いていきます。1回で壊死組織を除去することは難しく、創の状態に合わせて複数回に分けて処置すること



で、創の状態が良好となり、悪化を防ぐことができます。

またADL(日常生活動作)の回復や早期の退院へと繋がります。

皮膚・排泄ケア特定認定看護師が処置を行う事により、患者さんの重症化予防につながり、皮膚科外来の患者さんでは、待ち時間の短縮や、医師の負担軽減にも寄与しています。



※1 包括的指示とは

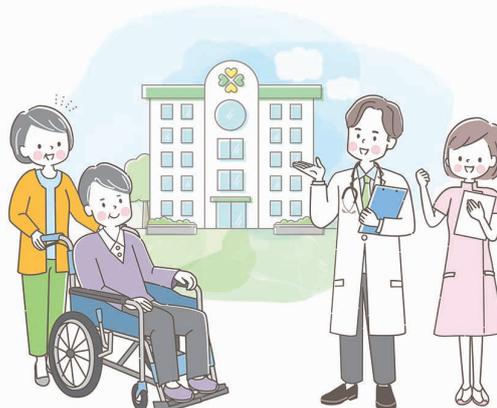
看護師が患者の状態に応じて柔軟に対応できるよう、医師が、患者の病態の変化を予測し、その範囲内で看護師が実施すべき行為について一括した指示



▶ 今後の展望

在宅療養される患者さんや、お一人暮らしの高齢患者さんは、今後も増加することが予測されます。

入院から在宅へと患者さんの療養先に関わらず、医療チームの一員として質の高い医療、安全・安心なケアを提供できるよう、皮膚・排泄ケア特定認定看護師として研鑽していきたいと思ひます。



2023年度ふれあい看護体験を開催しました!

看護部 百田美織

日時 2023年8月3日(水) 9:00~12:15

場所 マツダ病院 大会議室

2019年度を最後に「ふれあい看護体験」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送っていましたが、この度3年ぶりに開催することができました。

応募総数は過去最多の45名でした。人数の制約もあり、13名の中高生の皆さんに参加していただき、実際にユニフォームを着用し「看護体験」を行いました。



実際に看護場面を目の当たりにして、「自分の母親が看護師だが、いつも疲れて帰ってくるので大変さはわかっていたが、実際に見ると大変な中にもやりがいを感じる仕事だと思った」「対応された看護師さんが明るくて楽しそうにされていたのですごいと思った」「自分も頑張って勉強して皆さんのようなカッコいい看護師になりたい」「最初は不安だったけど、いろんな職種の人と連携していて凄いなと思った」などの感想が聞かれました。

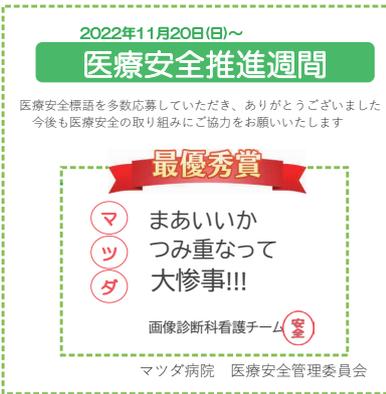
また、看護体験の後、進路相談会も開催し、動画視聴や進学方法についての説明を行いました。短時間でしたが、看護の現場を体験することで、「看護師になりたい」と言う想いが強くなったのではないかと期待をしているところです。



医療安全推進週間の取り組みについて

医療安全管理室 医療安全管理者 原田あいこ

厚生労働省では、「患者の安全を守る」ことを中心とした総合的な医療安全対策を推進するため、様々な取り組みを実施しています。



その一環として、11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間で「医療安全推進週間」と定め、医療関係者の意識向上や国民の理解を深めていただくための様々な事業を実施しています。

マツダ病院では昨年度、病院職員から医療安全標語を募集しました。34件の応募があり、この中から医療安全管理委員会で最優秀賞を決定し医療安全標語ポスターを作成しました。

そして厚生労働省のポスターとともに医療安全推進週間に病院内に掲示し、職員はもとより、マツダ病院に来院される患者さんや家族、施設のスタッフや業者の方などに医療安全推進週間について知っていただく機会としました。

第15回 脳・心臓・血管・代謝フォーラムを開催しました

日時: 2023年7月19日(水) 19時~20時

場所: マツダ病院 大会議室

プログラム

座長 循環器内科 住居 晃太郎

演題1 「心原性ショックを合併した急性心筋梗塞の一例」 講師 循環器内科 山本 佳征

演題2 「糖尿病とNAFLD/NASH」 講師 糖尿病内科 辻 英之

【参加】院外17名(会場:3名 WEB:14名) 院内13名 計30名

第15回のフォーラムはハイブリット形式で開催しました。循環器内科、糖尿病内科の医師からの発表の後、活発なディスカッションを行うことができました。

次回は2024年1月17日(水)を予定しています。





地域連携センターの活動紹介 その11



対話、これからの「地域連携」について ～薬剤師の視点から～

地域包括ケアシステムや病院機能分化が進む中、病院薬剤師は院内だけにとどまらず地域でのニーズも高まっています。そこで今回は薬剤師の地域視点での活動について紹介します。



▲薬業連携研修会



▲写真左から

植竹 敦(地域連携センター 副センター長)・赤崎 知佳(地域連携センター 看護師)・谷保 智美(薬剤部 主任薬剤師)・福長 豊己(薬剤部 薬剤師長)

薬剤師のブランド目標は？

植竹▼薬剤師の業務や役割はたくさんある中、今日は地域連携に関わるところを中心に話を伺います。マツダ病院薬剤部について簡単に紹介ください。

福長▼薬剤部では「日本一、医薬品を安全に確実に患者さんへ提供できる病院を目指します」というブランド目標を立て、患者さん個々へ適切な薬物治療が提供できるよう皆で取り組んでいます。薬剤師の仕事は、以前は調剤することが主でしたが今は病棟に常駐し、患者さんと直接関わることが増え、さらには地域の他施設との連携も増えてきています。

薬剤師の活動が院内から院外へ、地域と繋がる

植竹▼具体的な取り組みを教えてください。

福長▼薬剤管理サマリー、薬業連携研修会、治療日誌などです。薬剤管理サマリーは、退院時に作成し、退院後に薬を管理される訪問看護師やかかりつけ薬局、転院先の薬剤師などへ、当院入院中の薬物治療情報を引き継ぐためにお渡ししています。

赤崎▼かなり詳細な情報が記載してありますよね。

福長▼現在は薬剤師や訪問看護師へ向けたサマリーですが、過去、当院で一部処方を変更した後にかかりつけ医へ逆紹介した際、適切に処方変更の意図が伝わらなかった事例がありました。薬剤管理サマリーを医師向けに出すことも検討したいですね。

赤崎▼大切な情報が伝わる連携が必要ですね。

谷保▼次に年3回開催している薬業連携研修会です。主に安芸地区の保険薬局や病院薬剤師の情報交換の場となっています。当院から薬剤情報を地域(在宅)とつなげるためのツールの説明や薬局側の事例紹介など、双方向の研修会にすることでリアクションが感じられ、やる気も出ますし、スキルアップにもつながっていると思います。

赤崎▼他職種との交流機会はありますか？

谷保▼今年10月にリハビリ関連の学会で、「薬剤師の視点による心不全患者さんに対する地域連携の取り組み」を紹介する予定です。今後は薬剤師から他職種へのアプローチ

もっていきたくてです。

「治療日誌」が患者さんを中心に地域を繋ぐツールに

福長▼外来で抗がん剤治療を受けておられる患者さんに使っている「治療日誌」も地域連携ツールですね。これは当院が草分け的に行ってきたもので、保険薬局と情報共有するツールでもあります。

抗がん剤治療は副作用を軽くして治療を長く続けることが大切です。薬剤師は、患者さんが記載した症状を確認しながら面談し、対処法など日常生活のアドバイスをします。そして、副作用軽減、症状緩和に必要な薬を医師に提案します。さらに、「治療日誌」に開始された薬や処方理由などを記載し、保険薬局に繋がります。このように「治療日誌」を通じて地域と繋がっています。

地域からの要望を知りたい

植竹▼地域連携センターと協働でしたいことは？

福長▼以前、訪問看護ステーションスタッフの方へ抗がん剤の曝露対策の説明を行ったことがあります。在宅療養される方が今後も増えていく中で、スタッフの方が安全に薬の管理ができるお手伝いができる分野だと思います。

谷保▼病院では多職種が関わる環境がありますが、自宅では難しいと思うので、退院後も療養・生活に関して多職種でコミュニケーションを取れる場所や環境があると良いと思います。

院内、院外の連携が大事だと改めて実感

谷保▼調剤メインから病棟へそして地域へと薬剤師の活躍の場が広がっています。さらに地域の「他」職種との交流など、今後も活動を上げていきたいです。

福長▼今日は自分たちの活動を紹介でき、双方に気付くことがありました。まずは院内で連携することも大事だと改めて実感しました。その上でもっと院外に向けてマツダ病院薬剤部の取り組みを知ってもらい、安全に確実に患者さんへ医薬品が提供できる病院や地域を目指していきたいと思います。



地域連携センター 新副センター長あいさつ

この度、副センター長を務めさせて頂くこととなりました 植竹(うえたけ)と申します。地域連携センターは地域の患者さんに包括的な医療やケア/支援をご提供するために、広島市東部エリアを中心に、医療・関係施設様と連携を行い、その体制づくりの活動を推進しています。COVID-19が5類感染症に移行したことも踏まえ、今後はこれまで以上に積極的に地域施設様との相互信頼の構築に取り組み、マツダ病院が地域医療のニーズと期待にしっかりと応えできるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



センターへの問い合わせ

地域連携センター
Tel.082-565-5014



医療法人せのがわ 瀬野川病院

院長：津久江 亮太郎
 住所：広島市安芸区中野東4丁目11-13
 電話：082-892-1055
 診療科：精神科・心療内科、内科、歯科、放射線科、麻酔科、皮膚科
 診療時間：月曜日～土曜日 9:00～16:30
 (土曜日は12:00まで、日・祝日は除く)
 休診日：日・祝日、8月14日～16日、12月30日～1月3日

● 先生の専門分野についてお聞かせください。

個人的には精神科救急、司法精神医学が専門となりますが、第一線の精神科病院として、必要とされるケースに医局医師一同幅広く対応しております

● 先生が日頃、心がけていることを教えてください

精神科救急医療の特性上、患者さま自身が治療を希望されていないケースであっても、治療導入が必要となることも少なくありません。そのような場合でも、出来るだけ丁寧に治療の必要性や治療内容についてご本人にその都度粘り強く説明しております。

また、治療においては、主治医の判断が必ずしも最善とならない場合があることも考慮し、他の医療専門職とチームを組み、密な意見交換を行いながら、ご本人にとって最善の治療を行えるように努めています。

● 地域連携についてどのようにお考えですか？

当院は、広島県・広島市指定の365日24時間対応の精神科救急医療センターとして、また広島市東部認知症疾患医療センター・広島県依存症治療拠点機関に指定されており、地域の皆様の心と身体のサポートを行っています。誰もが安心して自分らしく暮らすことができる地域社会を目指すために、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組むべく、行政や各関係機関とより良い連携に努めてまいります。

● 最後にマツダ病院に要望することは？

精神科病院で対応が難しい身体合併症について、普段から大変お世話になっております。当院は精神科救急病院として、患者さまに安心できる質の高い医療を提供していけるように努めてまいりますので、今後も変わらぬ連携をよろしく願いたします。

公開医療講座

骨を強くするのはカルシウムだけじゃない!?
 ～骨の健康と栄養について～

管理栄養士 安藤 由佳

7月27日(木) 府中公民館での公開医療講座をおこないました。毎日食べる食事により体は作られています。骨も同様に食事から作られています。

講座では『骨粗鬆症は女性の病気ではなく、男性も罹り重症化しやすい』『骨を強くするのはカルシウム以外に、コラーゲンなどが骨質を高める要素』など解説しました。



【2023年度 公開医療講座予定表】

※予定が変更になることがあります。

予定日	時間	場所	講師	テーマ
10月20日(金)	15:00～16:00	阿戸公民館	画像診断技師 山田 圭紀	ピロリ菌と胃透視検査 ～検査の疑問を徹底解説～
10月26日(木)	15:00～16:00	府中南公民館	看護師 井上 由香利/上木 奈津美	骨卒中を予防しよう!
11月22日(水)	15:00～16:00	青崎公民館	薬剤師 勝谷 和馬	薬が効かない感染症について知ろう! ～耐性菌と抗菌薬についてお話し～
2024年 1月25日(木)	13:30～15:00	楠那公民館	理学療法士 北坂 彰彦	五十肩のリハビリ ～病期を知って正しく治そう～

外来診療のご案内

(令和5年10月1日現在)

		月	火	水	木	金	
内科	午前 循環器・消化器・糖尿病・呼吸器	初診	1診 須澤(循)	池内(循)	野村(消)	神原(呼)	高橋(呼)
		2診	三保(循)	富本(循)	神原(呼)	富本(循)	井原(呼)
		3診	住居(循)	須澤(循)	池内(循)	山本(循)	山本(循)
		4診	大成(呼)	岸本(糖)	辻(糖)	大成(呼)	辻(糖)
		5診	岸本(糖)	井原(呼)	住居(循)	長沖(消)	長沖(消)
		6診	福原(消)	黒田(消)	三保(循)	岸本(糖)	黒田(消)
		7診	平田(消)	田村(消)	平田(消)	福原(消)	野村(消)
		8診	高橋(呼)				
午後 専門外来		黒田(消)	山本(循)	田村(消)	住居(循)	岸本(糖)	
		辻(糖)	大成(呼)	白神(内)	辻(糖)		
TEL 082-565-5024 ※午後は再診のみ							

小児科	午前	鎌田立石*	安井	鎌田	鎌田	安井
	午後	鎌田	安井	安井鎌田	鎌田	安井鎌田
診療受付時間(11:30まで) *立石医師 第1・第3月曜日のみ(予約制) ※安井医師 水曜日午後は15:00~16:30 予防接種、乳児健診は予約制となります。						
TEL 082-565-5026						

外科	午前	1診 赤木	栗栖	赤木	栗栖	栗栖
		2診 羽田野	林谷	林谷	羽田野	
TEL 082-565-5027 ※午後は検査、手術又は特殊外来						

脳神経外科	午前	1診 川本	尾上	手術	川本	川本
		2診 尾上	土江		土江	尾上
	午後	手術	検査		血管内治療	検査
診療受付時間(11:00まで) ※水曜日は手術のため休診						
TEL 082-565-5122						

麻酔科	午前	城山	権	岡田	権	城山
TEL 082-565-5605						

精神科 心療内科	午前	萬谷(初)	萬谷	萬谷	萬谷	萬谷(初)
TEL 082-565-5037 ※月・金曜日は初診(完全予約制)のみ						

		月	火	水	木	金	
整形外科	午前	1診	月坂	月坂(初)	菊川(初)	菊川	月坂
		2診	露口(初再)	露口	武田(初再)	露口(初再)	仲田(初再)
		3診	菊川	仲田(初再)	田中	田中(初)	田中(初再)
		4診	河崎(初再)			河崎(初再)	武田(初再)
	午後	手術	手術	手術	手術	手術	
	骨粗鬆症外来(予約制)				田中*		
診療時間:午前(11時まで) *骨粗鬆症外来(予約制)・・・13:00~15:00							
TEL 082-565-5030							

皮膚科	午前	大塚豊島	大塚豊島	大塚豊島	大塚豊島	大塚豊島
	午後	大塚豊島	手術	大塚豊島	手術	大塚豊島*
診療時間:午前(11時まで)・午後(14時まで) 第3水曜日は休診 *第1・第3は大塚医師、第2・第4は豊島医師						
TEL 082-565-5033						

泌尿器科	午前	1診	甲田		甲田		甲田
		2診	定秀	担当医	定秀	担当医	定秀
		3診	小野		小野		小野
	午後	ESWL検査	手術	ESWL検査	手術	ESWL検査	
診療受付時間(11:00まで) ※火・木曜日は再診のみ ※火・木曜日は初診は(10:30まで)							
TEL 082-565-5032							

眼科	午前	1診	清水	清水	清水	清水
		2診			多田	多田
	午後	手術	清水	手術	多田	清水
TEL 082-565-5034 診療受付時間(11:00まで)						

耳鼻咽喉科	午前	1診	福入		福入		福入
		2診	清原	担当医	清原	担当医	清原
	午後	1診	福入	手術	検査	手術	福入
		2診	清原			清原	
TEL 082-565-5035							

歯科 口腔外科	午前	坂本田口	坂本田口	坂本田口	坂本田口	坂本田口
		広大医師 嚙下有田				
	午後	坂本田口	坂本田口	坂本田口	坂本田口	手術
広大医師 診療受付時間(11:30まで) ※午後は予約、急患のみ ※火曜日午前・金曜日午後は手術日です						
TEL 082-565-5036						

●担当医の(初)は初診の日になります。

受付時間

午前8:15~11:30
 (整形外科、脳神経外科、皮膚科、
 泌尿器科、眼科は8:15~11:00)
 午後12:45~14:00
 (歯科口腔外科は15:00迄)

休診日

原則として、土、日、祝日、年末年始

アクセス

JR ご利用の場合 ▶ JR 向洋駅より徒歩3分
 バスご利用の場合 ▶ 向洋駅前・マツダ本社前 下車徒歩1分
 お車をご利用の場合 ▶ 駐車場約140台

広島方面(広島駅)から県道164号線を海田方面に約4km
 海田方面(大正交差点)から県道164号線を広島方面に約3km



マツダ株式会社
マツダ病院



〒735-8585 広島県安芸郡府中町青崎南2番15号
 TEL.082-565-5000(代表)FAX.082-565-5138

official site : <http://hospital.mazda.co.jp/>

